

# 静岡市立清水袖師小学校



## 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年5月17日(火)

### 大昔の暮らしについて考える良い機会になりました。!



清水袖師小学校の6年生86人が、土器や石器などに直接触れ、火起こしをすることで、実感を伴った学習をすることを目的に、6年部の石上先生が出前授業を計画し、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験活動を行いました。

#### 石器の試し切り体験



「黒曜石で切れることを初めて知った。」



はじめは、旧石器時代や縄文時代・弥生時代などの古代の話をしながら進めました。石器に使用される石の種類や、石器の役割など、現代との違いを感じられるように詳しく説明しました。その後、黒曜石を使って、新聞紙や持参した野菜くずなどの切れ味を試しました。



縄文時代から古墳時代までの簡単な流れを聞いた後、縄文土器・弥生土器・須恵器の完成品を見ながら、土器片を分類しました。完成品を見たり、触ったりすることで、それぞれの違いがわかってきて、分類に迷った土器片も分けることができました。

#### 土器の分類体験



「縄文土器や弥生土器を実際に見ることができて良かった。」  
「土器の違いがわかって、関心が高まった。」



#### 火起こし体験



「今までチャッカマンだったけど、いろいろな方法があることがわかった。  
「昔の人のくらしは大変で、今がどんだけ便利になったのかがよくわかった。」

雨が少し降るあいにくの天気でしたが、校舎の軒下で火起こしを行いました。火起こしをやったことがある児童がほとんどいなかったもので、楽しみにしていたようでした。初めは、火の歴史を現代から遡って考えてみました。もみきり法や弓きり法、舞きり法などのやり方を知っている児童もいましたが、実際にやったことはないようでした。いよいよ自分たちが舞きり法で火起こしをします。弾み車を調子よく回すまでに少し時間がかかりましたが、慣れてくるとリズムよく回すことができるようになりました。2人1組で弾み車を回し、協力している班は火種を作ることができ、「フーフータイム」も頑張っただ度も火を起こすことができました。



#### 石上先生の感想

「土器や石器に実際に触れることや、火起こしができ、説明と実践という内容も良かったです。社会科が、紙面上のものになりつつある今(コロナ)なので、体と頭を使った本日の活動がとても楽しく、歴史に興味をもつ子が増えました。」